

平成28年8月19日
健康増進課 感染症対策担当
担当者 横尾、大木
内線 1832、1830 直通 0952-25-7075
E-mail: kenkouzoushin@pref.saga.lg.jp

腸管出血性大腸菌感染症の集団発生※1がありました（第2報）

武雄市内の保育所（以下、「A保育所」という。）で発生した腸管出血性大腸菌（O157：オーイチゴーナナ）感染症の集団発生事例（8月12日（金曜日）公表）について、杵藤保健福祉事務所が調査及び検便を実施した結果、A保育所の関係者から新たに11名（うち9名は※2無症状病原体保有者）の感染が判明しました。

また、A保育所の感染者と接触があった武雄市内の別の保育所（以下、「B保育所」という。）の調査及び検便を実施したところ、B保育所の関係者から12名の腸管出血性大腸菌（O157）の感染（うち9名は※2無症状病原体保有者）が確認されました。

現在、同事務所が接触者調査及び感染経路等に関する調査を引き続き行っています。

腸管出血性大腸菌は、汚染された食品や不適切な汚物処理などで感染しますので、別添を参考に感染予防を心がけてください。

なお、今回の情報提供は、広く腸管出血性大腸菌感染症に対する啓発と注意喚起を目的に行うものです。感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第3条において求められているように、患者の人権尊重には御配慮、御理解いただきますようお願いいたします。

※1 集団発生とは、同一感染経路で2例以上発生した場合をいいます。（同一世帯のみは含みません）

※2 無症状病原体保有者とは、症状はないものの検便により感染が確認された方をいいます。

記

1 現在の感染者数

	園児	職員	家族等	計	備考
A保育所	30（25）	0（0）	7（5）	37（30）	0歳～60歳代 男21名、女16名
B保育所	11（8）	1（1）	0（0）	12（9）	1歳～30歳代 男9名、女3名

（ ）内は無症状病原体保有者を再掲

2 感染者の状況 入院者及び重症者はいない。

3 感染源及び感染経路 調査中

4 保健福祉事務所の対応

- 1) 患者等の家族の健康調査及び検便を実施し、患者宅の消毒及び手洗い等の感染予防対策について指導
- 2) 各保育所に対し施設内消毒、手洗いの励行等の感染拡大防止対策について指導を実施
- 3) 園児及び保護者に対して手洗いの励行等の感染予防策を説明
- 4) 感染者に対して医療機関受診を勧奨
- 5) 感染者の家族等に対して接触者調査を実施

4 県内の腸管出血性大腸菌感染症の発生件数（平成28年8月19日現在） （単位：件、人）

年		0157	0 26	0 111	0 121	0 103	その他	合計
23	件数	13	2	0	0	0	4	19
	感染者数	22	2	0	0	0	5	29
24	件数	8	4	1	2	1	3	19
	感染者数	18	35	4	2	10	9	78
25	件数	15	0	1	4	1	4	25
	感染者数	52	0	3	9	1	4	69
26	件数	14	2	1	0	2	6	25
	感染者数	38	3	1	0	6	6	54
27	件数	15	4	1	0	0	5	25
	感染者数	27	14	2	0	0	6	49
28	件数	※3 7	1	0	0	1	1	※3 10
	感染者数	※3 56	10	0	0	1	2	※3 69

※3 今回の事例含む。

《腸管出血性大腸菌感染症について》

腸管出血性大腸菌O157、O26、O111、O103などは、ベロ毒素という強い毒素を出し、腸管を傷つけます。その結果、腹痛や水様性下痢、嘔吐、血便などの症状が出ます。特に、乳幼児や高齢者は、脱水症状を起こしやすく、溶血性尿毒症症候群（HUS）などの重篤な症状を引き起こす可能性がありますので注意してください。

また、二次感染（感染者から他の人に感染すること）しやすい病原菌ですので手洗いを十分にしましょう。

◆腸管出血性大腸菌は、食品等についた少量の菌で感染するため、食品等の取扱いには注意しましょう。

- ・手をよく洗う。
- ・まな板、包丁、布巾などの調理器具は台所用洗剤でよく洗い、定期的に熱湯をかけて消毒しましょう。
- ・食材、食品は、冷蔵庫で保管し、新鮮なうちに食べましょう。
- ・中心温度が75度、1分間以上を目安として十分加熱しましょう。
- ・特に、乳幼児や高齢者は、抵抗力が弱いので、生ものや生焼けの食品は食べないようにしましょう。

◆気になる症状があったら、医師の診察を受けましょう。

- ・主な症状は、腹痛、水様性下痢、嘔吐、血便などです。
- ・適切な抗生物質等の治療で早期に回復する病気です。
- ・くれぐれも自己判断で市販の下痢止めなどを飲まないでください。自己判断による服薬等で重症化をまねくことがあります。

◆下痢症状のある人や周囲に下痢症状のある人がいる場合は、石けんで念入りに手を洗いましょう。